

エドさんの ピンホール 写真教室

Edo's Lessons in Pinhole Photography

スローライフな写真術
Photography for Slow Life

本書では、エドさんによる鴨川ワークショップを中心に、その受講生たちと共に学んだ、ピンホール写真術の楽しさとテクニックを教えます。またエドさんの人生に影響を及ぼしたピンホール写真や彼自身が培った哲学や写真の秘術について、感性豊かな文章で綴ったエッセイでもあります。エドさんを主に受講生の写真やコメントも多数掲載。

エドワード・レビンソン 著
Edward Levinson

著者略歴 1953年12月、アメリカ・バージニア州生まれ。写真家。バージニア州立コモンウェルス大学で写真を勉強する。1979年より日本に居住。展覧会活動の他、写真ワークショップ講師、新聞、雑誌に写真と記事を寄稿中。

PINHOLE RESOURCE 協会会員。日本針穴写真協会国際部長。著書に『タイムスケープス・ジャパンー針穴で撮る日本の原風景』（日本カメラ社、6月発売予定）、共著（写真）に『はじめての自然菜園』（岩波書店）『二人で建てた家―「田園に暮す」それから』『田園に暮す』（文春文庫 plus）『出会いたい野の花たち』（文化出版局）『ベジタリアンのいきいきクッキング』（NHK出版）等多数。

写真作品所蔵：Graham Nash/Nash Editions、Pinhole Resource、Chesapeake Capital Corporation、国立クラクフ美術館日本芸術・技術センター（ポーランド）、ハンガリー写真美術館、ギャラリー・蔦、ごらくギャラリー等

判型 46 上製カバー 224 頁
定価（本体 1900 円＋税）
ISBN4-00-022275-4 C0072
4 月 26 日発売

岩波書店

読者はピンホール写真の持つ
ルールを学び、
そして、そのルールを破る
ことも学ぶ。
また読者には、
ピンホール写真のハウ・ツー
(how to) だけでなく、
ホワイ・ツー (why to) こそ
伝えたい。



本の構成・目次

はじめに ピンホールスティックの世界へようこそ
禅としてのピンホール写真

ピンホール写真の再生—僕のピンホール写真の旅の始まり
すべてを包み込む写真—ピンホールスティック

レッスン1 スローライフとしての写真

飛ぶことを学ぶ
自分に合うカメラを見つけること
テクニックについて
どんなピンホールカメラを使うか
ピンホール写真はクリシェ、それとも芸術？

レッスン2 シンプル イズ ベスト

日向での楽しみ
ピンホールマジック
スモール イズ ビューティフル
見ることの術

レッスン3 自然の美を味わう

海を観る
水の感触
樹々に聴く
喜びを見出す

レッスン4 人生の味わい

ひとの気配
日なたで
考える食
われわれのルーツ

レッスン5 街の中の光

チャンス到来
光が時と遭遇する
「その時」を訪れる
光の捕獲者

レッスン6 心の中のコスモス

感覚で感受する
魂の窓
「ふつう」を超えて
来世の向こうに

レッスン7 自分自身を見つめること

ほんとうのもの
どのポートレートも物語を語る
タイム・トラベラー
黄金を探して
ピンホール写真のフェミニンな神話

レッスン8 旅は続いていく

雲を追って
分かち合う時間
ワインを待って
役者たちへ乾杯
再び路上へ

あとがき

付録

簡単なピンホールカメラの作り方
使用されたピンホールカメラの種類



心と身体が疲れ果て、自分を見失っていたとき、エドさんはピンホールカメラを手に森を歩いた。そしてピンホールカメラとのゆったりと流れる時間のなかで、心は癒され自分を取り戻していた。そんなスローライフなピンホール写真の世界のすべてを、一〇〇点を越える豊富な写真作品と、エドさんの味わいのある語りとで綴ったユニークな入門書。

下より切り離して、お近くの小売書店にお申し込みください。(ネットでの注文は <http://www.iwanami.co.jp> から)

購入申込書

エドさんのピンホール写真教室

冊

岩波書店

ご住所〒 TEL

取扱書店

お名前